

農業・農協問題研究所・同首都圏支部共催

第74回研究例会

事業・経営をどうするか―農協の課題

第26回全国農協大会議案の検証と提言

震災・原発事故復興とエネルギー政策の転換、TPP参加交渉、人・農地プランの具体化と、農業・農協をめぐる課題は山積しています。今秋開催される第26回全国農協大会は、これまでの「減収増益」と「リストラ経営」路線を止め、新たな戦略のもとにすすむ舵を切ることを確認しようとしています。担い手の高齢化・減少をはじめとする農業基盤の衰退、組織基盤の脆弱化のもとで、組合員とのつながりの希薄化がすすむなかで、どう協同をとりもどし、農協再生の方向を確立していくのか、大きな課題に直面しています。

全国農協大会議案が示す農業、暮らし、経営戦略を検討し、その問題点を検討するだけでなく、どう現状を打開していったらいいのかを提言し、組合員・理事者・労働者が確信をもって努力し合っていく方向を検討し合います。

と き 9月8日(土) 13時00分～16時30分

ところ 東京・新宿・新宿農協会館7階会議室

報 告 1 地域農業戦略をめぐる

武蔵大学 後藤 光蔵氏

2 暮らし戦略をめぐる

首都圏支部会員 東 公敏氏

3 経営戦略をめぐる

愛媛大学 板橋 衛氏

4 現場での検証と提案

下伊那農協労組 笹岡 富男氏

会員外の方は参加費500円を申し受けます(会員団体構成員も無料)。

農業・農協問題研究所

東京都渋谷区代々木2-5-5 新宿農協会館803 TEL 03(3320)4945

E-mail noh@mtb.biglobe.ne.jp